

『これからの社会資本整備の考え方(建設部方針)』
(実行期間:2010年度~2015年度)

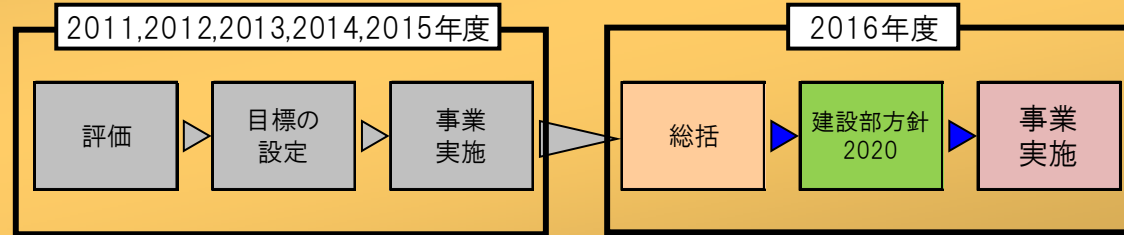
取組状況報告書

愛知県建設部

◆取組状況報告書の作成趣旨

○2010年4月に作成した『これからの社会資本整備の考え方(建設部方針)』の進行管理として、毎年度、取組状況報告書を作成。

○方針に示した定量目標については、前年度の「実績」と今年度の「見通し」を整理・分析。また、定性目標については、毎年度の取組実績を整理。2016年度からは「建設部方針2020」に基づき事業を実施。



◆取組状況報告書の構成

■『当地域が真に必要とする社会資本整備』定量目標の進捗状況

建設部方針に示した社会資本分野における3つのカテゴリと14の政策について、成果を検証できるよう、昨年度の目標がどの程度達成されたかを示す「実績」値と今年度の成果目標である「見通し」値を整理・分析。

■計画を効率的に進めるための取組と取組実績

建設部方針に示した計画を効率的に進めるための3つの項目と7の取組について、取組実績を整理。

【建設部方針の取組方針】

- I. 当地域が真に必要とする社会資本整備
社会資本分野における3つのカテゴリと14の政策
1. 安心・安全
2. 連携力・地域力・魅力
3. 環境
- II. 「選択と集中」による事業の重点化
1. 優先順位付けの考え方
2. 代替対策の検討
- III. 社会資本ストックの積極的な活用と適正な維持管理
1. 社会資本ストックの積極的な活用
2. 維持管理費の低減や平準化に向けた維持管理計画の策定
- IV. 総合的なコスト縮減
1. 事業の進行管理の徹底と完了目標年度の明確化
2. 技術基準の見直し
3. 官民協働の推進と民間技術の活用

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》①交通安全対策の推進

◆ 目標

事故危険箇所対策などを進めることにより、道路交通の死傷事故率を2007年から約15%削減する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	64箇所 (28.8%)	46箇所 (49.5%)	26箇所 (61.3%)	24箇所 (72.1%)	37箇所 (88.7%)	32箇所 (103.2%)	32箇所 (103.2%)

※死傷事故率=2007年 91.2件/億台キロ →目標値 77.1件/億台キロ(△15%)

※上記は、道路交通の死傷事故率を2007年から約15%削減するために必要な対策箇所数を222箇所として算定している。

◆ 総括

2015年度は計32箇所の交差点改良を完了し、対策箇所数の全体目標を達成しました。2012年までの対策箇所における対策後の事故発生件数は、対策前に比べて約28%削減しましたが、県内の県管理道路全体を見ると、2014年時点の死傷事故率は81.6件/億台キロであり、2007年に比べて約10%の削減にとどまっています。

本県の交通事故死者数は減少しているものの、13年連続で全国ワーストを記録するなど、極めて深刻な状況であるため、引き続き幹線道路の事故対策を強化するとともに、生活道路を含めた対策にも取り組んでいきます。

■2015年度の主な実施箇所

(主)瀬戸大府東海線【日進市】	交差点改良
(主)大垣一宮線【一宮市】	交差点改良
(国)247号【半田市】	交差点改良
(主)安城碧南線【安城市】	交差点改良
(国)151号【豊川市】	交差点改良

■2015年度の主な完了箇所



(国)151号(豊川市)



(主)瀬戸大府東海線(日進市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》①交通安全対策の推進

◆ 目標

市町村と連携し、103地区で主要な駅、公共施設、病院等生活関連施設を結ぶ239km(うち県管理103km)の歩行空間のバリアフリー化を完了する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	14km (63.1%)	10km (72.8%)	5km (77.7%)	4km (81.6%)	2km (83.4%)	17km (100%)	5km (88.3%)

※上記の進捗率は、県管理道路のみを対象に、2009年度末までの整備延長51kmを含めて算出している。

◆ 総括

2015年度は計5kmのバリアフリー化を完了しましたが、一部経路において用地買収が難航したことなどにより、計画延長239kmに対し、実績延長は200km(うち県管理道路は、計画103kmに対し、実績91km。)であり、目標を達成することはできませんでした。

高齢者や障害者など、誰もが安全・安心に利用できる歩行空間を確保するため、引き続き、歩道の整備や段差・勾配の解消など、歩行空間のバリアフリー化を推進していきます。

■ 2015年度の主な実施箇所

(主)名古屋半田線(阿久比町)	L=1.1km
(一)内津勝川線(春日井市)	L=1.0km
(主)春日井一宮線(春日井市)	L=0.3km
(一)南外山勝川線(春日井市)	L=0.3km
(主)名古屋瀬戸線(尾張旭市)	L=0.3km

■ 2015年度の主な実施箇所



(主)名古屋瀬戸線(尾張旭市)



(主)名古屋半田線(阿久比町)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

県内唯一の中核広域防災活動拠点に1箇所(愛・地球博記念公園)を位置づける。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)			
						(当初)	(実績)		
実施数 (進捗%)	1箇所 (100%)	2010年度 目標達成							

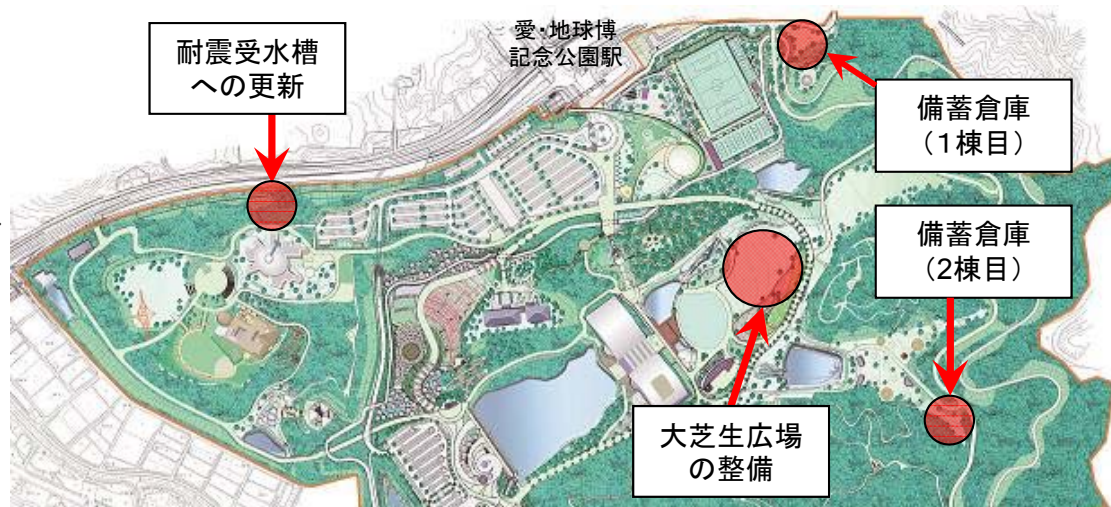
◆ 総括

2010年度に、愛・地球博記念公園を「愛知県地域防災計画」に定める中核広域防災活動拠点に位置づけました。

【目標達成後の取組】

防災力を向上させるため、防災用備蓄倉庫を、2013年度までに2棟建築し、2014年度は、耐震受水槽への更新をしました。

2015年度は、災害時の活動場所として使用する大芝生広場の整備を実施しました。



愛・地球博記念公園(長久手市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

県有施設で耐震性能が不足しているものについて、被災時においても建物の機能を維持できるよう耐震化を進め、一般県有施設耐震改修第2次9ヵ年計画の84棟※については耐震化を完了する。

※一般県有施設耐震改修計画の見直し等により、対象棟数を85棟に修正

※2015年度にあり方検討となった1施設を対象から外し、対象棟数を84棟に修正

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	6棟完了 (25.3%)	7棟完了 (33.3%)	13棟完了 (48.3%)	7棟完了 (56.3%)	20棟完了 (81.1%)	16棟完了 (100%)	15棟完了 (100%)

※上記の進捗率は、2009年度末までの改修分16棟を含めて算出している。

※対象棟数の見直し(追加)に伴い、進捗率を見直している。

◆ 総括

2015年度は、芸術大学講義棟はじめ15棟の耐震改修を実施、完了し、耐震化率は当初の目標の100%を達成しました。なお、1施設があり方検討施設となり、対象から外れました。今後は、2023年度を新たな目標年次として、天井落下防止対策等、非構造部材の耐震化の促進に努めてまいります。

○2015年度耐震改修工事実施棟	
施設名・棟名	
1	芸術大学 講義棟
2	芸術大学 閲覧室棟
3	芸術大学 美術学部棟
4	芸術大学 体育館
5	芸術大学 デザイン棟
6	芸術大学 管理棟
7	芸術大学 学生会館
8	芸術大学 音楽学部棟
9	愛知こどもの国 ゆうひ棟
10	消防学校 雨天訓練場
11	心身障害者コロニー管理事務所 北棟
12	港警察署待機寮
13	南警察署待機寮
14	安城警察署待機寮
15	警察本部警苑荘

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

住宅・建築物の所有者等の耐震化の取り組みをできる限り支援することにより、住宅の耐震化率を90%、多数の者が利用する建築物の耐震化率を90%(公共建築物は100%)とする。愛知県建築物耐震改修促進計画—あいち建築耐震プラン2015—では平成18(2006)年度～平成26(2014)年度で住宅耐震診断130,000戸、平成18(2006)年度～平成27(2015)年度で住宅耐震改修20,000戸を目標としている。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	耐震診断 5,906戸(31.2%) 耐震改修 758戸(23.2%)	耐震診断 7,498戸(37.0%) 耐震改修 2,628戸(36.3%)	耐震診断 6,436戸(41.9%) 耐震改修 1,435戸(43.5%)	耐震診断 5,738戸(46.3%) 耐震改修 1,315戸(50.1%)	耐震診断 5,873戸(50.8%) 耐震改修 641戸(53.3%)	耐震改修 9,349戸(目標) (100%)	耐震改修 651戸(56.5%)

※上記の進捗率は、2009年度末までの耐震診断34,632戸、耐震改修3,874戸を含めて算出している。

◆ 総括

2015年度は、耐震改修が計画戸数を下回る結果となりました。耐震診断戸数は2014年度目標未達、耐震改修は2015年度目標未達となりました。

2012年度には、新たな耐震改修促進計画である「あいち建築減災プラン2020」を策定しており、今後は、2020年度を新たな目標年次として、耐震化の促進に努めてまいります。



定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

第2次あいち地震対策アクションプランに基づき、2014年度までに優先的に耐震対策が必要な県管理橋梁について、耐震対策を完了する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	21橋 (49.7%)	24橋 (64.1%)	25橋 (79.0%)	20橋 (91.0%)	6橋 (94.6%)	9橋 (100%)	4橋 (97.0%)

※上記の進捗率は、2009年度末までの対策済橋梁62橋を含めて算出している。

◆ 総括

2015年度は、(主)名古屋碧南線・石ヶ瀬跨線橋始め4橋の耐震対策を完了しましたが、関係機関との調整の遅れ等から、目標の167橋に対して162橋の対策完了にとどまり、目標を達成することはできませんでした。なお、対策を完了できなかった橋梁については、2014年に策定した「第3次あいち地震対策アクションプラン」に基づき事業を継続しており、既に工事着手しています。

2016年度以降も、緊急輸送道路の橋梁や鉄道を跨ぐ橋梁を中心に、対策を実施していきます。

■ 2015年度の実施箇所及び耐震補強内容

(主)名古屋碧南線・石ヶ瀬跨線橋(大府市)	橋脚補強
(主)岡崎碧南線・棚尾橋(碧南市)	橋脚補強
(国)301号・新城橋(新城市)	橋脚補強
(一)能登瀬新城号・湯谷大橋(新城市)	橋脚補強

■ 2015年度の主な完了箇所



(主)岡崎碧南線・棚尾橋(碧南市)



(国)301号・新城橋(新城市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

第2次あいち地震対策アクションプランに基づき、2014年度までに緊急輸送道路における優先度の高い落石危険箇所等の法面对策を完了する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	16箇所 (46.9%)	13箇所 (57.0%)	18箇所 (71.1%)	19箇所 (85.9%)	18箇所 (100.0%)	—	—

※上記の進捗率は、2009年度末までの対策済44箇所を含めて算出している。

◆ 総括

2014年度までに、目標128箇所全ての危険箇所を解消し、目標を達成しました。

2015年度からは、第3次あいち地震対策アクションプランに基づき、市町村役場等に至る緊急輸送道路の法面对策を実施しており、2015年度も11箇所の危険箇所を解消しました。

■ 2015年度の主な実施箇所

(国)257号(設楽町)	Co吹付・落石防止ネット工
(国)473号(設楽町・東栄町)	ロープ掛工
(主)名古屋多治見線(瀬戸市)	落石防止柵工・ロープ掛工
(主)飯田富山佐久間線(豊根村)	落石防止ネット工・落石防止柵工
(一)津具大嵐停車場線(豊根村)	落石防止ネット工・落石防止柵工



(国)257号(設楽町)



(一)津具大嵐停車場線(豊根村)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

第2次あいち地震対策アクションプランに基づき、2014年度までに河川堤防は27.1km、海岸堤防は30.4kmの区間について耐震対策を行い、大規模地震発生時の浸水被害を軽減する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	河川堤防 0.4km(86.7%)	河川堤防 0.3km(87.8%)	河川堤防 0.4km(89.2%)	河川堤防 0.1km(90.0%)	河川堤防 2.8km(100%)	-	-
	海岸堤防 1.7km(61.5%)	海岸堤防 2.1km(68.5%)	海岸堤防 2.7km(77.3%)	海岸堤防 2.5km(85.8%)	海岸堤防 3.2km(96.1%)	1.2km (100%)	0.65km (98.2%)

※上記の進捗率は、2009年度末までの整備済箇所(河川堤防23.1km、海岸堤防17.0km)を含めて算出している。

照査の結果対策不要となった延長については、2014年度実績に計上し、目標値との整合を図った。

◆ 総括

2015年度までに、二級河川矢崎川や豊橋海岸をはじめとして、河川堤防で27.1km、海岸堤防で29.9kmの耐震対策を実施し、河川・海岸堤防については概ね目標を達成しました。

2016年度からは、東日本大震災を踏まえた「第3次地震対策アクションプラン」及び「建設部方針2020」に基づき、引き続き河川・海岸堤防等の耐震対策を進めてまいります。

■ 2015年度の主な実施箇所



矢崎川(西尾市)



一色漁港海岸(西尾市)

■ 2015年度の主な実施箇所

二級河川 日光川(飛島村)	水閘門改築
二級河川 天白川(名古屋市、東海市)	耐震対策工
一色漁港海岸(西尾市)	耐震対策工380m
豊橋海岸(豊橋市)	耐震対策工100m

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

第2次あいち地震対策アクションプランに基づき、2007年度から2014年度までに、急傾斜地崩壊から1,200戸を保全する。併せて土砂災害対策施設の整備を進める。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
保全戸数 (進捗%)	83戸 (20.2%)	86戸 (27.3%)	49戸 (31.4%)	132戸 (42.4%)	75戸 (48.7%)	—	50戸 (52.8%)

※上記の進捗率は、2009年度末までに保全した159戸を含めて算出している。

※年度毎の保全人家数は、概成箇所数や箇所毎の保全人家数などにより変動する。

◆ 総括

2015年度は、要配慮者利用施設、避難場所、緊急輸送路などを保全する箇所を中心に事業の重点化に取り組みつつ、入山区域をはじめとして、保全人家計50戸を急傾斜地崩壊から保全しました。

2015年度末進捗率としては、52.8%となりましたが、これは、保全人家戸数にカウントできない要配慮者利用施設、避難場所等を保全する箇所を重点的に急傾斜地崩壊対策事業を促進させたためです。

■ 2015年度の概成箇所と保全人家戸数

入山区域(岡崎市)	21戸
上町区域(春日井市)	11戸
真弓区域(豊田市)	12戸
槇林区域(豊田市)	6戸

2015年度 概成箇所[上町区域(春日井市)]



2015年度 概成箇所[入山区域(岡崎市)]



定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》②地震減災対策の推進

◆ 目標

第2次あいち地震対策アクションプランに基づき、2007年度から2014年度までに、下水道施設の全処理場の優先施設(揚水・導水・消毒・放流機能)及び重要幹線約4.5kmの耐震化を実施する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)		
						(当初)	(実績)	
実施数 (進捗%)	処理場施設 3箇所(94.1%) 重要幹線 0.13km(93.3%)	処理場施設 1箇所(100%) 重要幹線 0.04km(94.2%)	重要幹線 0.26km (100%)	2012年度 目標達成				

※進捗率は、2009年度末までの対策済箇所(処理場施設13施設、重要幹線4.07km)を含めて算出している。

◆ 総括

2012年度までに、処理場17箇所、管渠4.5kmの対策を実施しました。2015年度は更なる耐震性の向上を図るため、処理場及び管渠施設の耐震化を実施しました。

【目標達成後の取組】

2015年度以降も引き続き、更なる耐震性の向上を目指して処理場及び管渠施設における耐震化を実施します。

■2015年度の主な完了箇所



境川流域下水道 水処理施設(EXP.J設置)
(刈谷市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》③住宅セーフティネットの構築

◆ 目標

住宅に困窮する県民のために、県営住宅おおむね6万戸の水準を維持しつつ、高齢ストックを計画的に更新する。そのためには、毎年度500戸程度の老朽化した住宅の建替えを実施する必要があり、これら計画的な建替により低額所得者、被災者、高齢者、障害者及び子育て世帯などの住宅確保要配慮者への住宅の供給を安定的に行っていくことを目指す。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
建替戸数 (達成%)	431戸 (14.4%)	435戸 (28.9%)	414戸 (42.7%)	330戸 (53.7%)	281戸 (63.0%)	276戸 (72.2%)	275戸 (72.2%)

◆ 総括

2015年度も引き続き建設費が上昇し、厳しい財政状況の中、建替については西春住宅(北名古屋区)を始めとする5住宅(275戸)の実績となりました。今後においても厳しい状況が継続するとみられますが、住宅セーフティネットの役割を果たしていくため、建設部方針2020に基づき、県営住宅の建替工事に計画的に着手していくとともに、民間活力導入による低コストで良質な県営住宅整備のための新たな事業手法を検討していきます。

■ 2015年度実績

西春住宅(北名古屋市)	54戸
愛宕南住宅(津島市)	39戸
東浦住宅(東浦町)	63戸
初吹住宅(豊田市)	63戸
鷲塚住宅(碧南市)	56戸

■ 2015年度の主な完了箇所



東浦住宅(東浦町)



野並住宅(天白区)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》④風水害への対応力の強化

◆ 目標

県管理河川で改修を必要とする約1,300kmに対して、整備率を53%(2008年度)から56%に引き上げる。ただし、名古屋市に管理権限委譲した河川を含む。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
整備率 (進捗%)	53.2% (6.7%)	53.4% (13.3%)	53.6% (20.0%)	53.9% (30.0%)	54.5% (50%)	56.0% (100.0%)	54.8% (60.0%)

◆ 総括

2015年度までに、整備率を54.8%へ引き上げました。平成20年8月末豪雨対策として、伊賀川、広田川、鹿乗川等で床上浸水被害の解消を目指した改修を重点的に進め約5年間の事業を完了しております。また、日光川新水閘門の築造を重点的に実施し、平成29年度末の完了を予定しております。2016年度も引き続き、建設部方針2020に基づき、治水安全度の向上を図るため、実施してまいります。

■2015年度の主な実施箇所

二級河川 日光川 (飛島村他)	水閘門改築、築堤 橋梁改築工
一級河川 五条川 (清須市・あま市)	護岸工820m 河床掘削工35,000m ³
一級河川 広田川 (岡崎市他)	護岸工210m
二級河川 鹿乗川(岡崎市)	函体工
一級河川 安永川(豊田市)	開水路工280m

■2015年度の主な実施箇所



日光川水閘門(飛島村)



五条川(清須市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》④風水害への対応力の強化

◆ 目標

土砂災害対策施設整備を新たに74箇所行い、1,100戸の家屋を保全する。併せて土砂災害警戒区域等の指定を進めることにより、土砂災害による犠牲者0(ゼロ)の継続を図る。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	14箇所 (18.9%)	16箇所 (40.5%)	11箇所 (51.4%)	14箇所 (74.3%)	9箇所 (86.5%)	10箇所 (100%)	11箇所 (101%)

◆ 総括

2015年度は、要配慮者利用施設、避難所、緊急輸送路などを保全する箇所を中心に事業の重点化に取り組み、宇連川第31支川をはじめとして、11箇所施設整備を実施し150戸を保全しました。

2015年度末進捗率は、101%で目標を達成しました。

■ 2015年度の概成箇所

男川第8支川(岡崎市)	谷津沢(新城市)
長沢連沢(岡崎市)	入山区域(岡崎市)
黒田川第1支川(豊田市)	上町区域(春日井市)
黒田川第2支川(瀬戸市)	真弓区域(豊田市)
宇連川第31支川(新城市)	槇林区域(豊田市)
山中沢第2支川(新城市)	

■ 2015年度的主要な概成箇所



宇連川第31支川(新城市)



真弓区域(豊田市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》⑤安全な施設サービスの提供

◆ 目標

公園施設のうち遊具については、2009年度の安全点検に基づき11県営都市公園で計画的に対策を実施する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	1公園完了 (9.1%)	1公園完了 (18.2%)	9公園完了 (100%)	2012年度 目標達成			

◆ 総括

2012年度は、大高緑地始め9公園の残る遊具全てについて安全対策を実施し、当初の目標を1年前倒して11公園の対策を完了しました。

【目標達成後の取組】 2015年度は、定期点検を引き続き実施し、遊具の安全確保を図りました。2016年度も同様に、遊具の安全確保を図っていきます。

■ 2015年度の主な対策箇所



愛・地球博記念公園(長久手市)



木曾川祖父江緑地(一宮市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》⑤安全な施設サービスの提供

◆ 目標

県営住宅のバリアフリー化率を35.2%(2009年度)から45%に引き上げるなど、長寿命化改善等を実施することにより、県営住宅ストックの安全性向上を図る。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)		
						(当初)	(実績)	
実施数 (進捗%)	40.8% (57.1%)	43.1% (80.6%)	45.4% (104.1%)	2012年度 目標達成				

◆ 総括

2015年度は、24戸の改善と275戸の建替を行い、県営住宅のバリアフリー化率は、50.3%となりました。住民の皆様のご理解とご協力により、予定よりも早く目標を達成し、さらなるバリアフリー化率の向上に向けて取組を進めることができました。

【目標達成後の取組】引き続き、県営住宅ストックを、安全・快適な状態で維持管理できるよう、バリアフリー化を進めます。

■ 2015年度実績

篠岡住宅(小牧市)	24戸
-----------	-----



トイレ扉取替

バリアフリー改善実施例

手すり設置

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》⑤安全な施設サービスの提供

◆ 目標

全橋梁について、定期的な点検を継続的に実施し、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、更新時期の平準化、トータルコストの縮減を図る。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
修繕計画策定数 (進捗%)	1,693橋 (42.3%)	0橋 (42.3%)	2291橋 (100%)	2012年度 目標達成 (継続的な点検により計画を更新)			

※管理橋梁数の変更に伴い、進捗率の見直しをしている。

◆ 総括

2012年度までに全橋梁について橋梁長寿命化修繕計画を策定し、目標を達成しました。

2013年の道路法改正により、5年毎の定期点検が義務化され、これにあわせて橋梁の点検要領も見直されました(H26.6国土交通省)。2014年度からは、この新しい橋梁点検要領に基づく定期点検(近接目視)に移行しており、2015年度は1,110橋の定期点検を実施しました。

引き続き2016年度以降も、定期点検及びその結果に基づく修繕計画の更新を継続していきます。

■ 橋梁の点検状況



境大橋(大府市)



追分跨線橋(豊川市)



高御堂橋(稲沢市)

定量目標の進捗状況 《1. 安心・安全》⑤安全な施設サービスの提供

◆ 目標

県管理の10港湾・11漁港において基本施設の長寿命化(修繕)計画を策定する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
修繕計画策定数 (進捗%)	2港 (38.1%)	9港 (81.0%)	4港 (100%)			2012年度 目標達成	

※上記の進捗率は、2009年度末までに長寿命化計画を策定した6港を含めて算出している。

◆ 総括

2012年度までに県管理の10港湾・11漁港において、長寿命化計画の策定が完了しました。

【目標達成後の取組】 策定した計画を基に、点検・修繕等適切な維持管理を行い、施設の長寿命化に努めます。



三谷漁港(蒲郡市)



赤羽根漁港(田原市)

表 長寿命化計画の策定スケジュール

港名	2008	2009	2010	2011	2012
衣浦港	●				
三河港	●				
常滑港	●				
富具崎港				●	
師崎港				●	
河和港				●	
吉田港		●			
東幡豆港		●			
福江港				●	
伊良湖港			●		
小計	3	2	1	4	0
豊浜漁港				●	
師崎漁港		●			
篠島漁港				●	
大浜漁港				●	
一色漁港				●	
西幡豆漁港			●		
知柄漁港					●
形原漁港				●	
三谷漁港					●
福江漁港					●
赤羽根漁港					●
小計	0	1	1	5	4
合計	3	3	2	9	4
進捗率	14.3%	28.6%	38.1%	81.0%	100.0%

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》

⑥モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備

◆ 目標

衣浦港、三河港において、多目的国際ターミナルの整備を進め、取扱可能貨物量を2009年度から20万トン増加させる。また、緊急物資供給可能人口※を2009年度から6万人増加させる。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
増加数 (進捗%)	一トン(0%) 一人(0%)	一トン(0%) 一人(0%)	一トン(0%) 一人(0%)	一トン(0%) 6万(100%)	20万トン(100%) 6万人(100%)	20万トン(100%) 6万人(100%)	20万トン(100%) 6万人(100%)

※緊急物資供給可能人口とは、大規模災害が発生した場合、1人1日当たり必要な緊急物資量を供給できる人数のことである。

◆ 総括

衣浦港、三河港の多目的国際ターミナルの2014年度の整備実績及び2015年度の整備実績は、下表のとおりです。

箇所	2014年度実績(事業費ベース)	2015年度実績(事業費ベース)
三河港蒲郡地区岸壁(水深11m)	進捗率100%	(2015年3月完成)
三河港御津地区岸壁(水深5.5m)	進捗率91.5%	進捗率91.7%
衣浦港武豊北地区耐震強化岸壁(水深10m)	進捗率100%	(2013年10月完成)



三河港蒲郡地区(蒲郡市)



三河港御津地区(豊川市)



衣浦港武豊北地区(武豊町)

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》

⑥モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備

◆ 目標

名古屋港の鍋田ふ頭コンテナターミナルの整備を進め、コンテナターミナルの取扱個数を2008年度から22万TEU※増加させる。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
増加数 (進捗%)	21.9万TEU (99%)	19.6万TEU (89%)	27.8万TEU (126%)	2012年度 目標達成 (参考)2015年度 29.1万TEU(132%)			

※TEU(twenty-foot equivalent unit、20フィートコンテナ換算)とは、コンテナ船の積載能力やコンテナターミナルの貨物取扱数などを示すために使われ、貨物容量のおおよそを表す単位である。20フィートコンテナの1個分を1TEUとし、その容量は、長さ20フィート(6.1メートル)、幅8フィート(2.4メートル)、高さ8.5フィート(2.6メートル)を標準とする。

◆ 総括

2015年度のコンテナ取扱個数は、109.4万TEUを記録しました。これは、2008年度の80.3万TEUから22万TEU増加という目標に対して132%の達成率となっています。

【目標達成後の取組】

鍋田ふ頭進入道路が、2016年3月に4車線で供用しており、2016年度以降も堅調なコンテナの取り扱いが見込まれます。

■名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル



定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》

⑥モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備

◆ 目標

陸海空の拠点をつなぐ広域道路網の形成を促進し、中部国際空港への60分到達カバー圏域を2015年度までに2008年度から1割向上させる。また名古屋港、衣浦港、三河港への60分到達カバー圏域を2015年度までに2008年度から1割向上※させる。

※2015年の目標値を新たに設定(2013年4月)

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	15km (33.9%)	8km (43.3%)	11km (55.6%)	11km (68.4%)	8km (76.4%)	16km (100.0%)	12km (89.6%)

※実績及び見直し値は、目標を道路整備延長に代えて計上している。また、進捗率は、2009年度末までに整備した14kmを含めて算出している。

※新たな目標値の設定に伴い、進捗及び整備計画延長を見直している。

◆ 総括

2015年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、計12kmの整備を実施しました。

2016年度以降については、建設部方針2020に基づき、引き続き道路整備の取組を進めてまいります。



道路ネットワーク
H28. 3の時点



道路ネットワーク
H28. 3の時点

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》

⑦渋滞のないスムーズな移動空間の提供

◆ 目標

渋滞箇所の解消や踏切等のボトルネック箇所の解消を図ることにより、渋滞損失時間を2015年度までに2008年度から5%削減※する。

※2015年の目標値を新たに設定(2013年4月)

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	15km (33.9%)	8km (43.3%)	11km (55.6%)	11km (68.4%)	8km (76.4%)	16km (100.0%)	12km (89.6%)

※実績及び見通し値は、目標を道路整備延長に代えて計上している。また、進捗率は、2009年度末までに整備した14kmを含めて算出している。

※新たな目標値の設定に伴い、進捗及び整備計画延長を見直している。

◆ 総括

2015年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、計12kmの整備を実施しました。

2016年度以降については、建設部方針2020に基づき、引き続き道路整備の取組を進めてまいります。



【整備前】



【整備イメージ】

踏切除却によるボトルネック対策となる道路整備事例
((国)155号(布袋拡幅))

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》

⑧山間や離島の暮らしを支える社会資本の整備

◆ 目標

山間道路などの整備を進めることにより、第2次救急医療施設への30分到達カバー圏域を2015年度までに2008年度から1割向上※させる。

※2015年の目標値を新たに設定(2013年4月)

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	15km (33.9%)	8km (43.3%)	11km (55.6%)	11km (68.4%)	8km (76.4%)	16km (100.0%)	12km (89.6%)

※実績及び見直し値は、目標を道路整備延長に代えて計上している。また、進捗率は、2009年度末までに整備した14kmを含めて算出している。

※新たな目標値の設定に伴い、進捗及び整備計画延長の見直しをしている。

◆ 総括

2015年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、計12kmの整備を実施しました。

2016年度以降については、建設部方針2020に基づき、引き続き道路整備の取組を進めてまいります。



山間地域の1.5車線の道路整備事例
((一)振草三河川合停車場線(待避所設置))
【整備後】

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》⑨魅力ある市街地の形成

◆ 目標

連続立体交差事業を促進することにより、16箇所ある事業区間内の踏み切り数を6箇所減少させる。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)		
						(当初)	(実績)	
実施数 (進捗%)	0箇所 (0.0%)	6箇所 (100.0%)	2011年度に目標達成					

◆ 総括

名鉄常滑線等太田川駅付近連続立体交差事業(東海市、踏切箇所数:6箇所)及び名鉄名古屋本線等知立駅付近連続立体交差事業(知立市、踏切箇所数:10箇所)に集中的に投資しており、2011年度に、太田川駅付近連続立体交差事業において、踏切6箇所を除却し、2013年度に事業完了しました。

【目標達成後の取組】

引き続き、残る名鉄名古屋本線等知立駅付近連続立体交差事業に集中投資し、事業進捗を図る予定です。



名鉄常滑線・河和線太田川駅
付近連続立体交差事業(東海市)



定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》⑨魅力ある市街地の形成

◆ 目標

区画整理事業を進めることにより、駅周辺などの区画整理事業地区内の人口を9%増加させる。

◆ 実績

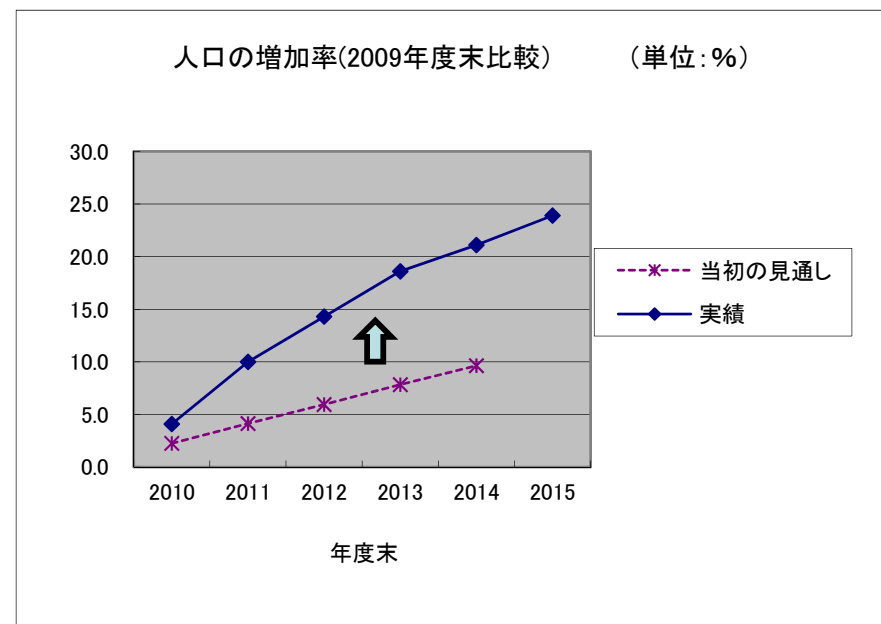
年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)		
						(当初)	(実績)	
増加率 (進捗%)	4.0% (44.4%)	10.0% (111.1%)	2011年度に目標達成					

◆ 総括

豊田浄水地区(豊田市)や大府共和西地区(大府市)など事業終盤地区が多く、当初の想定よりも保留地の売却が進んだことにより、新規住宅が増加したため、2009年度末比23.9%増と、目標を上回る人口増加となりました。

【目標達成後の取組】

今後も引き続き着実に事業を進め、魅力ある市街地の形成により、更なる人口増加を図ります。



定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》⑩良好な生活空間の創造

◆ 目標

県民一人当たりの都市公園面積を7.16㎡(2008年度)から7.5㎡にする。

◆ 実績

年度	2009年度 (実績)	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
							(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	7.29㎡/人 (38.6%)	7.36㎡/人 (58.7%)	7.43㎡/人 (78.4%)	7.51㎡/人 (102.9%)	2012年度 目標達成			

※実績及び見通し値は、県民一人当たりの都市公園面積のとりまとめが翌年度となることから、他とは異なり2009年度からとなっています。

◆ 総括

2012年度に、愛・地球博記念公園で27.2haを供用開始するなどした結果、県民一人当たりの都市公園面積は7.51㎡となり、目標を達成しました。

【目標達成後の取組】 2015年度は、愛・地球博記念公園で0.12haを供用開始しました。

県民一人当たりの都市公園面積は7.63㎡(2014年度値)であり、全国平均10.2㎡/人には及ばないため、2016年度も引き続き、油ヶ淵水辺公園等の整備を進めます。

■2015年度の供用箇所

愛・地球博記念公園(長久手市)	1,200㎡
あいち健康の森公園(大府市、東浦町)	32,949㎡

■2016年度の主な整備箇所



油ヶ淵水辺公園(整備中)
(安城市、碧南市)→
(整備イメージ)

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》⑩良好な生活空間の創造

◆ 目標

県営都市公園の年間利用者数を570万人(2008年度)から750万人にする。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
利用者数 (達成%)	590万人 (11.1%)	592万人 (12.2%)	633万人 (35.0%)	669万人 (55.0%)	674万人 (57.8%)	750万人 (100%)	750万人 (100.0%)

◆ 総括

2015年度は、第32回全国都市緑化あいちフェア、新城ラリー、東海合戦ワールドを始めとした各種イベントを実施し、PRを積極的に行ったところ、利用者数は750万人となりました。

今後も魅力あるイベントの実施やPRを強化していくことにより、引き続き利用促進に努めます。

■2015年度の主なイベント開催箇所

公園名	利用者数	2015年度の主なイベント
愛・地球博記念公園(長久手市)	199万人	第32回全国都市緑化あいちフェア、トヨタ博物館クラシックカーフェスティバル、愛知駅伝、モリコロパーク夏、秋、春まつりなど
大高緑地(名古屋市)	167万人	東海合戦ワールド、あいち都市緑化フェア、大高緑地秋まつりなど
東三河ふるさと公園(豊川市)	32万人	つつじまつり、自然観察会、初日の出を見よう、ふるさと満喫まつりなど
新城総合公園(新城市)	29万人	新城ラリー など

■2015年度の主なイベント開催箇所



第32回全国都市緑化あいちフェア
(愛・地球博記念公園)

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》⑩良好な生活空間の創造

◆ 目標

市民団体等との協働による公園管理運営を4公園で取り組む。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	1公園 (25.0%)	1公園 (25.0%)	2公園 (50.0%)	3公園 (75.0%)	3公園 (75.0%)	4公園 (100%)	3公園 (75%)

◆ 総括

2015年度は、すでに市民団体等との協働を行っている3公園での取組を継続して行うと共に、小幡緑地において園内で活動を行っているボランティア団体等と意見交換や会議などを行ったが、活動内容の合意形成が得られなかったため、当初の目標達成には至らなかった。

引き続き、ボランティア団体等との意見交換の実施や公園の魅力向上となる取組を行う事で、市民団体等との協働による公園管理運営の取組を進めます。



大高緑地コレカラ談話会の活動

■ 2015年度の主な取組

公園名	2015年度の協働の主な取組内容
愛・地球博記念公園	公園マネジメント会議の議論を活性化するとともに、実践の場となる「分科会」の活動を実施。
牧野ヶ池緑地	「牧野ヶ池緑地保全協議会」による取組を継続して実施。
大高緑地	「大高緑地コレカラ談話会」による協働の取組を継続して実施。
小幡緑地	小幡緑地については、園内で活動しているボランティア団体等と意見交換を実施し、協働による管理運営の取組を進める。



公園マネジメント会議の活動

定量目標の進捗状況 《2. 連携力・地域力・魅力》⑪観光力強化

◆ 目標

観光旅行者の満足度を16.3%(2009年度)から25%に向上する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	13km (33.0%)	6km (40.8%)	9km (52.6%)	9km (65.2%)	8km (77.3%)	16km (100.0%)	12km (94.4%)

※実績及び見直し値は、目標値を道路整備延長に代えて計上しています。上記の進捗率は、2009年度末までに整備した10kmを含めて算出しています。

※2015年の目標値を新たに設定し、それに伴い進捗及び整備計画延長を見直している。

◆ 総括

2015年度は、完了間近な路線へ予算の重点配分を行い、計12kmの整備を実施しました。

2016年度以降については、建設部方針2020に基づき、引き続き道路整備の取組を進めてまいります。

【参考】ハード面からの観光地づくり(観光満足度と道路整備の関係)

観光旅行者へのアンケート調査等では、観光地の主な課題の一つとして道路渋滞が挙げられていることから、県内観光拠点へのアクセス性を高め、観光地間の周遊性の向上を図る道路整備を計画的に行っており、この道路整備により、観光満足度の向上を図ります。

定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑫水質浄化

◆ 目標

下水道普及率を69%(2008年度)から80%に引き上げる。

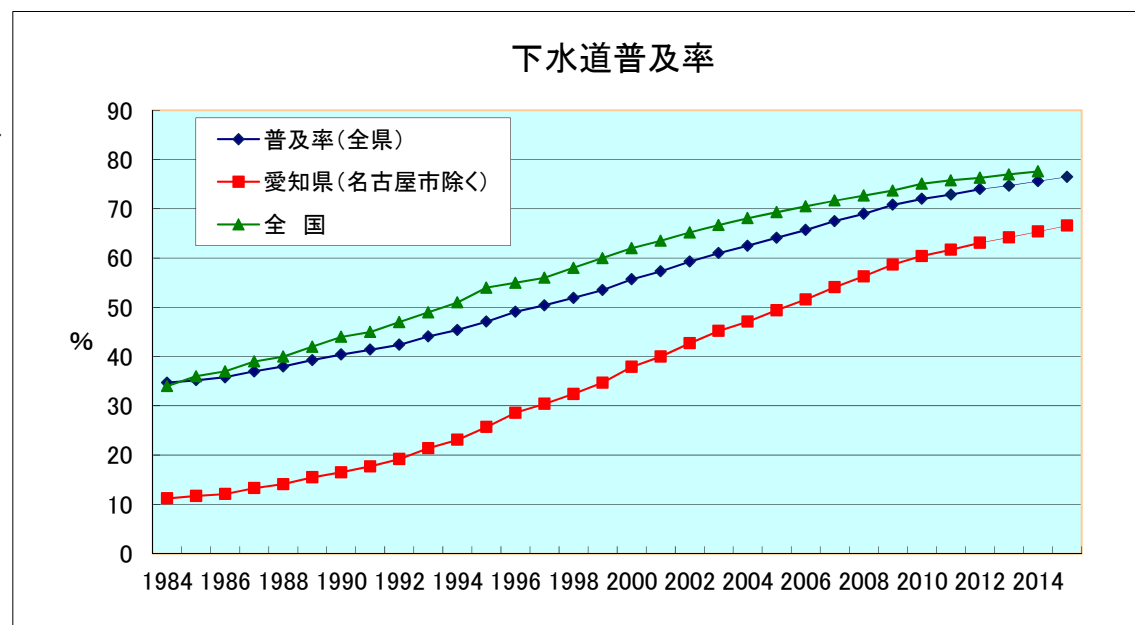
◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
普及率 (進捗%)	72.0% (90.0%)	72.9% (91.1%)	74.0% (92.5%)	74.7% (92.5%)	75.6% (94.5%)	80.0% (100%)	76.5% (95.6%)

◆ 総括

計画期間における財政状況の悪化等により、下水道事業(公共下水道)の予算が縮小したため、2015年度末の下水道普及率は76.5%であり、目標を達成できませんでした。

今後も、引き続き公共下水道の整備に合わせ、流域下水道の整備を図っていきます。



定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑫水質浄化

◆ 目標

新たに下水道が使える人口を70万人以上増やす(2008年度比)。※名古屋市を除く

◆ 実績

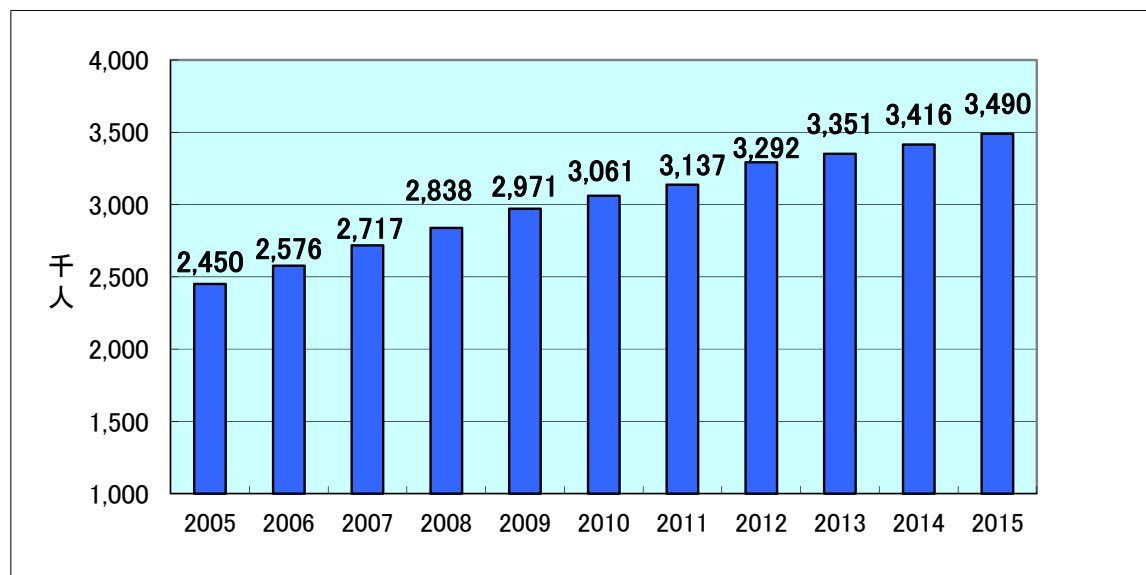
年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
増加数 (進捗%)	22万人 (31.4%)	30万人 (42.6%)	45万人 (64.3%)	51万人 (72.9%)	58万人 (82.9%)	70万人 (100%)	65万人 (92.9%)

※2010年度の進捗率は2009年度末までの増加13万人を含めて算出している。

◆ 総括

計画期間における財政状況の悪化等により、市町が整備する下水道事業(公共下水道)の予算が縮小したため、2015年度末の下水道が使える人口は2008年度比で65万人増となり、目標を達成できませんでした。

今後も、引き続き公共下水道の整備に合わせ、流域下水道の整備を図っていきます。



定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑫水質浄化

◆ 目標

三河港奥部の深掘れ跡を1箇所削減する。

◆ 実績

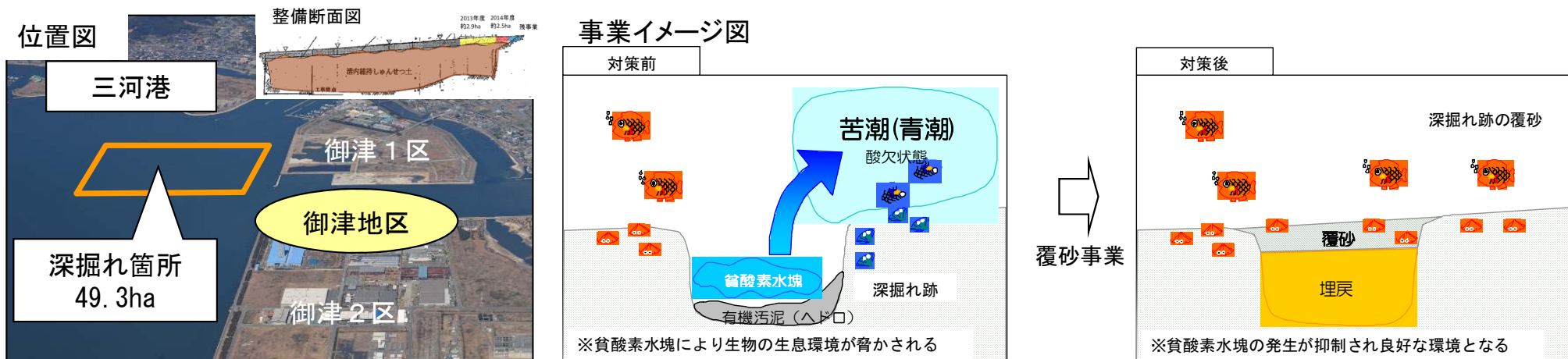
年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	0箇所 (58.7%)	0箇所 (70.2%)	0箇所 (79.8%)	0箇所 (89.4%)	0箇所 (93.5%)	1箇所 (100%)	1箇所 (95.4%)

※上記の進捗率は、2010年度末までに実施した部分(約34ha)を含め、事業費換算で算出している。

※また深掘れ跡の面積等を精査し、一部進捗率を見直ししている。

◆ 総括

2015年度は、三河港御津地区の深掘れ跡で約1.0haの覆砂を実施(覆砂箇所全体面積49.3haに対し、2015年度までに47.0ha実施)し、概ね目標を達成しました。



定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑬温暖化対策の推進

◆ 目標

県営都市公園の整備や「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」を促進することにより、樹林地等の確保や緑地の創出面積を概ね100ha増やす。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	16.5ha (16.5%)	12.3ha (28.8%)	41.4ha (70.2%)	14.6ha (84.8%)	10.7ha (95.5%)	7.6ha (100%)	10.4ha (105.9%)

◆ 総括

2015年度は、愛・地球博記念公園の整備や「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」により10.4haの緑地を創出・確保し、当初の目標を達成しました。更なる緑地の創出・確保を目指すため、引き続き県営都市公園の整備や「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」を促進していきます。

■ 2015年度の主な実施箇所

愛・地球博記念公園(長久手市)	0.12ha
七本木池公園植栽工事(半田市)	0.53ha
鹿田坂巻水野公園(北名古屋市)	0.13ha
野田新田公園(刈谷市)	0.04ha

■ 2015年度の主な実施箇所



東幡豆小学校校庭芝生化事業(西尾市)



野田新田公園(刈谷市)

定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑬温暖化対策の推進

◆ 目標

流域下水道計画区域内において、污水处理施設からの温室効果ガス排出量を2008年度比で1.3万トン以上削減する。

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	0.4万トン (30.8%)	0.5万トン (38.5%)	1.2万トン (92.3%)	1.5万トン (115.3%)	1.4万トン (107.7%)	1.3万トン (100.0%)	1.6万トン (123.1%)

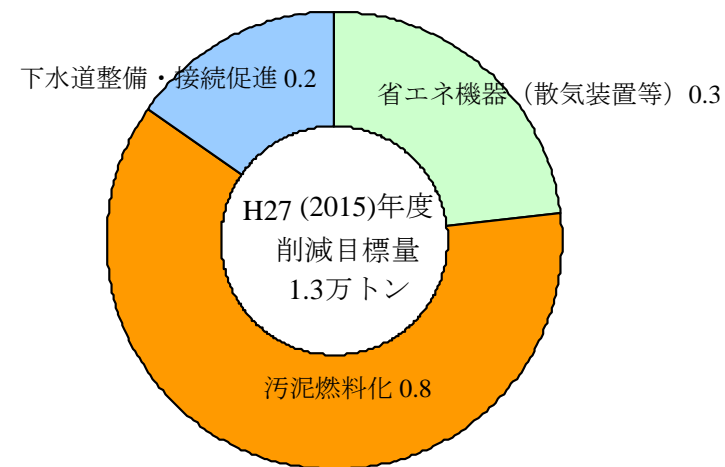
※上記の進捗率は、2009年度末までの削減量0.4万トンを含めて算出している。

◆ 総括

2015年度は、下水道事業の進捗と下水汚泥炭化燃料の製造及びその使用過程において、予定を上回る温室効果ガスの排出削減が出来たため、2008年度比で1.6万トン削減となりました。

今後も温室効果ガスの削減を推進していきます。

流域下水道事業による温室効果ガス削減の目標



定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑬温暖化対策の推進

◆ 目標

「愛知県建築物環境配慮制度」を活用し、環境に配慮した住宅・建築物を広く普及する。(総合的な環境性能に配慮した住宅・建築物の建築件数(CASBEEの評価結果がAランク以上)の累計を2015年度までに500件にする。)

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
建築件数 (進捗%)	60件 (50.8%)	64件 (63.6%)	99件 (83.4%)	107件 (104.8%)	2013年度 目標達成		

※上記の進捗率は、2009年度末までの建築件数194件を含めて算出している。

◆ 総括

2013年度に累計で524件となり、目標を達成し、2015年度は83件増えて累計で687件となりました。

【目標達成後の取組】 今後も環境に配慮した住宅・建築物を広く普及すべく、引き続き愛知県建築物環境配慮制度を活用していきます。

CASBEE は、省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷低減の側面と、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上の側面の両面から、建築物の環境性能を総合的に評価するシステムで、評価結果を、S(素晴らしい)、A(大変良い)、B+(良い)、B-(やや劣る)、C(劣る)の5段階で格付けするものです。



Sランクの建築物(アイシン・エイ・ダブリュ(株) 岡崎東工場)

定量目標の進捗状況 《3. 環境》⑭生物多様性の保全

◆ 目標

河川が本来有している多様性に富んだ自然環境を保全・創出する。(2015年までに141.9kmの多自然川づくりを整備する。ただし、名古屋市に管理権限委譲した河川を含む。)

◆ 実績

年度	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (実績)	2014年度 (実績)	2015年度(目標)	
						(当初)	(実績)
実施数 (進捗%)	3.0km (76.1%)	1.0km (76.8%)	3.0km (78.9%)	5.0km (82.4%)	8.0km (88.1%)	16.9 km (100.0%)	3.4km (90.4%)

※上記の進捗率は2009年度までの整備延長105kmを含めて算出している。

◆ 総括

2015年度までに、23.3kmの多自然川づくりを実施しました。

2016年度も引き続き、建設部方針2020に基づき、多自然川づくりによる河川改修を実施してまいります。

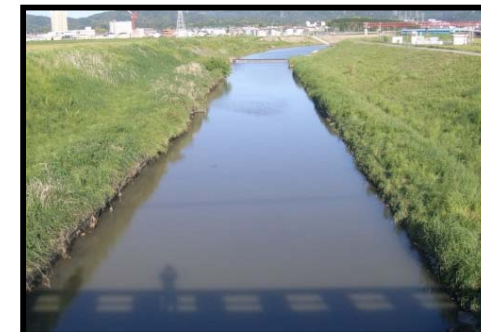
■ 2015年度の主な実施箇所

二級河川 天白川 (名古屋市)	護岸工150m
二級河川 油ヶ淵 (碧南市など)	植生基盤工420m
一級河川 広田川 (幸田町)	護岸工210m

■ 2015年度の主な実施箇所



天白川(名古屋市)



広田川(幸田町)

計画を効率的に進めるための取組と目標

投資的経費の減少や社会資本ストックの維持管理費の増大が進む中、「当地域が真に必要とする社会資本整備」を着実に推進するために、以下の施策に取り組みます。

項目	取組項目	目標
「選択と集中」による事業の重点化	1. 優先順位付けの考え方	毎年、優先順位の考え方を策定して、関係者に周知する。
	2. 代替対策の検討	事業実施に際し、ソフトも含めた代替措置の検討を行う。
社会資本ストックの積極的な活用と適正な維持管理	1. 社会資本ストックの積極的な活用	新規事業において、社会資本ストックの活用を積極的に検討する。
	2. 維持管理費の低減や平準化に向けた維持管理計画の策定	社会資本ストックの更新、維持管理経費の最小化、平準化のために維持管理計画を策定する。
総合的なコスト縮減	1. 事業の進行管理の徹底と完了目標年度の明確化	主要な事業について事業の進行管理を徹底し、完了目標年度を公表する。
	2. 技術基準の見直し	技術基準の見直しを検討する。 市民団体等との協働による公園管理運営を4公園で取り組む。
	3. 官民協働の推進と民間技術の活用	パートナーシップ制度など、さらなる普及に努める。 設計VEを積極的に活用する。

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《「選択と集中」による事業の重点化》1. 優先順位付けの考え方

- ◆ 取組目標
毎年、優先順位の考え方を策定して、関係者に周知する。
- ◆ 2015年度事業の優先順位の考え方

事業の別	優先順位の考え方
街路事業	義務度(協定締結の有無など)や完了間近度など複数の判定項目に対して重み付けを行い、その総計を参考に優先順位付けしています。 【主な事業】 知立駅付近連続立体交差事業、豊田則定線
交通安全対策事業	事故発生状況や通学路指定状況などの判定項目から事業実施の必要性の重み付けを行い、その上で事業進捗度や義務的経費(協定締結の有無)など、実施に際した個々の条件を考慮して、優先順位付けをしています。 【主な事業】 国道301号豊田市九久平町交差点改良、蜂須賀白浜線津島市歩道設置
道路事業	義務的経費(協定に基づく継続事業など)、他事業との協力事業(河川・区画整理関連など)、プロジェクト関連事業(高規格道路へのアクセス道路整備など)、完了が間近な事業などの判定項目により優先順位付けしています。 【主な事業】 国道419号(高浜立体)、主要地方道岐阜稲沢線(西尾張IC)
港湾事業	地震減災対策、他事業連携、国際物流機能強化、完了間近な事業など複数の判定項目により優先順位を付けています。 【主な事業】 三河港蒲郡地区航路(-11m)、衣浦港臨港道路中央ふ頭西線
河川事業	流域面積、想定氾濫区域内資産・人口(DID)、有堤河川などから判断し、優先的に整備する河川を抽出するとともに、橋梁等他の優先実施事業と共同で行う事業を優先しています。 地震時に液状化により堤防が沈下し、ゼロメートル地帯等で直後に浸水が開始する区間を優先的に、堤防の耐震化を実施しています。 【主な事業】 日光川河川改修、広田川河川改修

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績 《「選択と集中」による事業の重点化》1. 優先順位付けの考え方

(続き)

事業の別	優先順位の考え方
海岸事業	地震時に液状化により堤防が沈下し、ゼロメートル地帯等で直後に浸水が開始する区間を優先的に、堤防の耐震化を実施しています。 【主な事業】衣浦港海岸、一色漁港海岸
砂防事業	重要交通網、要配慮者利用施設、避難場所などに係る危険箇所について重点的に事業を進めています。 【主な事業】(砂防)長沢連沢、(急傾斜)入山区域
公園事業	義務的要素や事業の緊急度・重要度により優先順位付けを行っています。 【主な事業】油ヶ淵水辺公園、愛・地球博記念公園、東三河ふるさと公園
区画整理 事業	義務度(協定締結の有無など)や完了間近度など複数の判定項目に対して重み付けを行いその総計を参考に優先順位付けしています。 【主な事業】春日井熊野桜佐、岡崎駅南
下水道事業	市町の実施する流域関連公共下水道事業の進捗や汚水量の増加に合わせ、管渠の延伸、処理場の機能増設を行います。 【主な事業】日光川下流処理区、新川西部処理区
県営住宅 事業	建替・改善に際し、愛知県営住宅長寿命化計画(H21～31)に沿って建設年代や老朽度合い、耐震性などにより順位を決定しています。 【主な事業】(建替)西春住宅始め5住宅 (長寿命化改善)中川住宅始め3住宅

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績 《「選択と集中」による事業の重点化》2. 代替施策の検討

◆ 取組目標

事業実施に際し、ソフトも含めた代替措置の検討を行う。

◆ 2015年度の取組実績

事業の別	取組状況
交通安全対策事業	事故危険対策等を推進するため、32箇所の交差点でカラー舗装による注意喚起対策を実施しました。
河川事業	「手づくりハザードマップ作成支援事業」を23地区、「大雨行動訓練支援事業」を13地区の実施を行いました。
砂防事業	土砂災害警戒区域を1,563箇所指定しました。

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《社会資本ストックの積極的な活用と適正な維持管理》1. 社会資本ストックの積極的な活用

◆ 取組目標

新規事業において、社会資本ストックの活用を積極的に検討する。

◆ 2015年度の取組実績

施設の別	取組状況
道路	既存の道路幅員内において、歩道の段差解消、視覚障害者ブロックの設置などを実施しました。
河川	逢妻男川(豊田市)において、左岸の現況護岸等を活かし、右岸引堤による改修を実施しました。
公園	愛・地球博記念公園の大芝生広場において、野外ステージを建築するとともに、天然芝を人工芝に更新することにより、イベント機能の拡充を図りました。
県営住宅	中山住宅において、入居者の自動車保有率減少に伴い増加する駐車場の空き区画の有効活用策として、事業者を募集しコインパーキングを実施しました。

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《社会資本ストックの積極的な活用と適正な維持管理》2. 維持管理計画の策定

◆ 取組目標

社会資本ストックの更新、維持管理経費の最小化、平準化のために維持管理計画を策定する。

◆ 維持管理計画の策定状況

施設の別	策定状況
(下水道) 下水道長寿命化 計画	<p>2009年度まで: 豊川、五条川左岸、境川流域の機械設備の一部で長寿命化計画を策定</p> <p>2010年度: 機械・電気設備の長寿命化計画策定マニュアルを作成</p> <p>2011年度: 供用後10年以上経過した8流域において、機械・電気設備全体の長寿命化計画策定に着手し、マニュアルに基づいて、全機器のリストアップ、保全方針の分類、現在の状態評価、将来の状態予測を実施</p> <p>2012年度: 前年の長寿命化計画について引き続き検討を進め、対策内容・時期・概算費用の整理、ライフサイクルコストの試算、中長期計画を作成</p> <p>2013年度から: 機械・電気設備について、策定した中長期計画に基づき、更新・長寿命化・修繕等の対策を実施。維持管理業務の点検結果から設備の状態を把握し、中長期計画を定期的に見直し</p>
(公園) 公園施設長寿命化 計画	<p>2009年度まで: 遊具に関する長寿命化計画を策定</p> <p>2010年度: 大高緑地を始め7公園における長寿命化計画を策定</p> <p>2011年度: 小幡緑地を始め5公園における長寿命化計画及び大規模建築物の長寿命化計画を策定</p> <p>2012年度から: 公園施設長寿命化計画を踏まえた計画的な修繕等を実施</p>

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《社会資本ストックの積極的な活用と適正な維持管理》2. 維持管理計画の策定 (続き)

施設の別	策定状況
(道路) 橋梁長寿命化修繕計画	2009年度まで: 3,999橋のうち1,693橋の橋梁長寿命化修繕計画を策定 2010年度: 残り2,306橋のうち、1,160橋を点検 2011年度: 残り1,146橋の点検を行い、全3,999橋の点検完了 2012年度: 2010年度、2011年度に点検した橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、すべての橋梁に対して長寿命化修繕計画を策定。また2回目の点検として約800橋を点検完了 2013年度: 2012年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき定期点検を実施するとともに当該年度の点検結果に基づき修繕計画を更新 2014年度: 修繕計画に基づき838橋の定期点検を実施するとともに、点検結果に基づき修繕計画を更新 2015年度: 修繕計画に基づき1,110橋の定期点検を実施
(河川) 排水機場・水門長寿命化計画	2009年度まで: 日光川排水機場(飛島村)について策定 2010年度: 中江川(北名古屋市)、鴨田川(北名古屋市)、水場川(清須市)排水機場について策定 2011年度: 蟹江川(蟹江町)、筏川(弥富市)、西中野(一宮市)排水機場について策定 2012年度: 西條小切戸(大治町)、鍋田川(弥富市)、水干川(刈谷市)、流れ川(刈谷市)、発杭川(刈谷市)排水機場について策定 2013年度: 須賀川、五ヶ村川、高浜川、新川(碧海)、御津川各水門等について策定 2014年度: 大田川、発杭川、安永川、安藤川各水門等について策定 2015年度: 矢田川、信濃川、沢渡川、下り松川各水門等について策定
(港湾) 維持管理計画	2009年度まで: 衣浦港、三河港、常滑港(常滑市)、吉田港(西尾市)及び東幡豆港(西尾市)について策定 2010年度: 伊良湖港(田原市)について策定 2011年度: 富具崎港(美浜町)、師崎港(南知多町)、河和港(美浜町)、福江港(田原市)及び伊良湖港(田原市)について策定

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《社会資本ストックの積極的な活用と適正な維持管理》2. 維持管理計画の策定

(続き)

施設の別	策定状況
(漁港) 機能保全計画	2009年度まで:師崎漁港(南知多町)について策定 2010年度:西幡豆漁港(西尾市)について策定 2011年度:豊浜漁港(南知多町)、篠島漁港(南知多町)、大浜漁港(碧南市)、一色漁港(西尾市)及び形原漁港(蒲郡市)について策定 2012年度:知柄漁港(蒲郡市)、福江漁港(田原市)、三谷漁港(蒲郡市)、赤羽根漁港(田原市)について策定
(県営住宅) 県営住宅長寿命化計画	2009年度:県営住宅長寿命化計画策定 2010年度:万場東住宅、小本西住宅(名古屋市)の長寿命化改善基本調査を実施 2011年度:川中住宅、古鳴海住宅(名古屋市)の長寿命化改善基本調査を実施 2012年度:中川住宅、西前田住宅(名古屋市)の長寿命化改善基本調査を実施 2013年度:当知住宅(名古屋市)、八幡台住宅(瀬戸市)の長寿命化改善基本調査を実施 2014年度:大森向住宅、向島住宅、織部住宅、幸心住宅(名古屋市)の長寿命化改善基本調査を実施 2015年度:北平部住宅(名古屋市)の長寿命化改善基本調査を実施
(砂防) 砂防堰堤補強計画	2011年度:砂防設備である土えん堤について現況調査を実施 2012年度:引き続き現況調査を実施するとともに、土えん堤補強計画を検討 2013年度:土えん堤の特定を完了

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《総合的なコスト縮減》1. 事業の進行管理の徹底と完了目標年度の明確化

◆ 取組目標

主要な事業について事業の進行管理を徹底し、完了目標年度を公表する。

◆ 取組状況

事業の別	取組状況
街路事業	義務度(協定締結の有無など)や完了間近度など複数の判定項目に対して重み付けを行い、その総計を参考に優先順位付けしています。 【主な事業】 知立駅付近連続立体交差事業、豊田則定線
交通安全対策事業	社会資本総合整備計画※において、完了間近の路線を公表しています。
道路事業	社会資本総合整備計画※において、完了間近の路線を公表しています。
港湾事業	社会資本総合整備計画※において、完了年度を公表しています。
河川事業	社会資本総合整備計画※において、完了年度を公表しています。 清流ルネッサンスⅡの油ヶ淵の取組は、次のウェブページにおいて目標年度を公表しています。 (http://www.pref.aichi.jp/0000071969.html)
海岸事業	社会資本総合整備計画※及び農山漁村地域整備計画 (http://www.pref.aichi.jp/0000059628.html)において、完了年度を公表しています。
砂防事業	社会資本総合整備計画※において、完了予定を公表しています。

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績 《総合的なコスト縮減》1. 事業の進行管理の徹底と完了目標年度の明確化

(続き)

事業の別	取組状況
公園事業	社会資本総合整備計画※を策定し、事業の進行管理を行い、計画の概要を公表しています。
区画整理 事業	義務度(協定締結の有無など)や完了間近度など複数の判定項目に対して重み付けを行いその総計を参考に優先順位付けしています。 【主な事業】 春日井熊野桜佐、岡崎駅南
下水道事業	社会資本総合整備計画※において、完了年度を公表しています。
県営住宅 事業	社会資本総合整備計画※において、事業名を公表しています。

※ 「社会資本総合整備計画」は、地域が抱える政策課題の解決を図るために、社会資本整備総合交付金により事業を実施しようとする場合に地方公共団体が作成する計画です。

愛知県が作成した社会資本総合整備計画は、次のウェブページにおいて公表しています。

(<http://www.pref.aichi.jp/0000039204.html>)

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績 《総合的なコスト縮減》2. 技術基準の見直し

◆ 取組目標

技術基準の見直しを検討する。

◆ 取組状況

施設の別	取組状況
道路	<p>平成15年度より、ボランティア団体、道路管理者の愛知県、地元市町村の3者が協力して道路の清掃美化活動を行うことを目的に「愛・道路パートナーシップ事業」を進めており、今後さらに普及に努めます。 (2015年度実績:315団体、約7,070名)</p> <p>また、県管理道路の草刈業務を地元団体へ委託する「マイタウン・マイロード事業」を進めています。 (2015年度実績: 77団体、386,669m²)</p>
港湾	2007年7月に見直した技術基準により、効率的な設計に努めています。
河川・海岸	「河川・海岸事業の手引き」の改訂に向け、引き続き作業を進めてまいります。
砂防	2008年3月に見直した技術基準により、効率的な設計に努めています。
下水道	愛知県下水道事業適正化会議を開催し、設計、積算、施工の適正化、統一化、省力化を検討しています。
県営住宅	コスト縮減、性能向上に向けて基準の見直しを随時実施しています。

計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績 《総合的なコスト縮減》3. 官民協働の推進と民間技術の活用

◆ 取組目標

パートナーシップ制度など、さらなる普及に努める。

◆ 取組状況

施設の別	取組状況
道路	平成15年度より、ボランティア団体、道路管理者の愛知県、地元市町村の3者が協力して道路の清掃美化活動を行うことを目的に「愛・道路パートナーシップ事業」を進めており、今後さらに普及に努めます。 (2013年度の参加実績:296団体、約7,200名)
港湾	港湾利用者のニーズに沿った施設整備を行うため、公設民営化を念頭に置いた運営方針について検討していきます。
河川	河川の除草を地元団体へ委託する「愛知コミュニティーリバー推進事業」、地域住民との協働により河畔林の植樹や管理を行う「水辺の緑の回廊事業」を進めています。 (2015年度実績:愛知コミュニティーリバー推進事業:44団体、399,000㎡、水辺の緑の回廊事業:2箇所、173名)
下水道	衣浦東部浄化センターの汚泥燃料化施設において、設計・施工、20年にわたる維持管理について民間活力を導入しています。(2011年度:燃料化施設完成) また、豊川浄化センターにおいて、汚泥のエネルギー利用、既存施設の更新を含めた汚泥処理事業にPFIを導入し、民間活力・資金を用いて費用縮減を図ります。(2014年度:PFI事業契約)

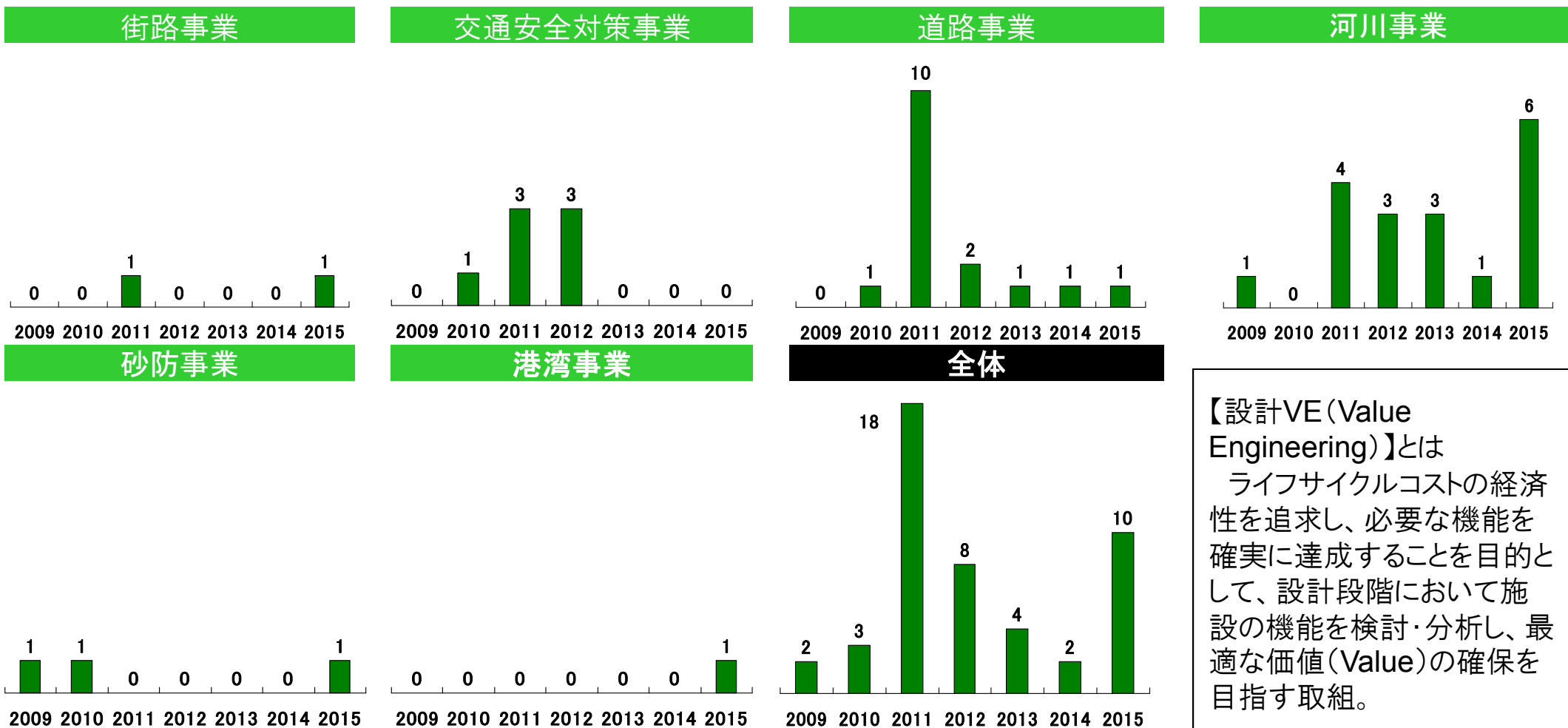
計画を効率的に進めるための取組目標と主な取組実績

《総合的なコスト縮減》3. 官民協働の推進と民間技術の活用

◆ 取組目標

設計VEを積極的に活用する。

◆ 設計VEの取組状況の推移



【設計VE (Value Engineering)】とは
 ライフサイクルコストの経済性を追求し、必要な機能を確実に達成することを目的として、設計段階において施設の機能を検討・分析し、最適な価値 (Value) の確保を目指す取組。

※2009、2010、2011、2012、2013、2014年度は実績数、2015年度は実施予定数です。